

3. 採番が必要な項目

3.1 項目一覧

No	ID名	作成方法
1	研究者番号	研究者を新規に登録した際、システムで自動的に採番
2	評価者番号	評価者を登録した際、システムで自動的に採番
3	公募事業番号	事業登録した際、システムで自動的に採番
4	申請番号	公募を受け付けた際、システムで自動的に採番 ※採番するタイミングについては別途検討が必要 ・ 研究者が申請したとき ・ 指定機関が承認したとき ・ 配分機関が受理したとき
5	課題番号	採択された課題に対して、採択結果を登録した際、システムで自動的に採番
6	研究者 ID	研究者のログイン ID
7	機関代表者 ID	機関代表者のログイン ID
8	事務分担者 ID	事務分担者のログイン ID
9	配分機関管理者 ID	配分機関管理者のログイン ID
10	研究開発管理担当者 ID	研究開発管理担当者のログイン ID
11	PD・POID	PD・POのログイン ID
12	評価者 ID	評価者のログイン ID
13	CSTP 担当者 ID	CSTP 担当者のログイン ID

3.2 IDルール体系 (10桁)

1. 研究者番号 (8桁)

ア すでに科研費番号を持っている研究者
 年度(2桁)+既存の科研費番号(8桁)
 0.6 1 2 3 4 5 6 7 8
 ↳ 既存の科研費番号
 ↳ 区分「06」固定

イ 現在科研費番号を持っていない研究者

年度(2桁)+チェックディジット(1桁)+連番(7桁)
 0.6 A 0 0 0 0 0 0 1
 ↳ 年度ごとの連番
 ↳ チェックディジット
 ↳ 西暦の年度(07以降～)

2. 評価者番号 (8桁)

年度(2桁)+連番(5桁)+チェックディジット(1桁)
 0.6 0 0 0 0 1 A
 ↳ 西暦の年度
 ↳ 年度ごとの連番
 ↳ チェックディジット

3. 公募事業番号 (13桁)

年度(2桁)+事業コード(10桁)+回数(1桁)
 0.7 0 2 0 1 0 0 1 0 0 1
 ↳ 西暦の年度
 ↳ 事業コード
 ↳ 回数

4. 申請番号 (18桁)

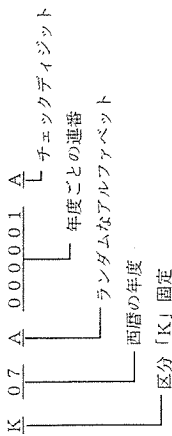
公募事業番号(13桁)+連番(5桁)
 0 7 0 2 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 0 0 1
 ↳ 公募事業番号
 ↳ 連番

5. 課題番号 (8桁)

年度(2桁)+連番(6桁)
 0.6 0 0 0 0 0 1
 ↳ 西暦の年度(2桁)
 ↳ 年度ごとの連番

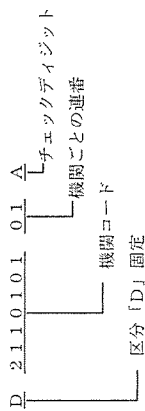
6. 研究者 ID (11桁)

区分(1桁)+年度(2桁)+区分(1桁)+連番(6桁)+チェックディジット(1桁)



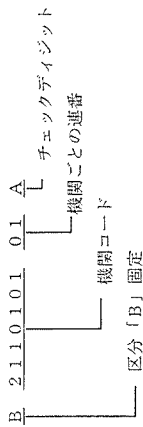
7. 機関代表者 ID (11桁)

区分(1桁)+指定機関コード(7桁)+連番(2桁)+チェックディジット(1桁)



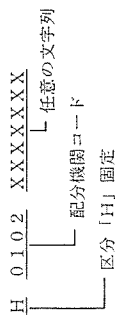
8. 専務分担者 ID (11桁)

区分(1桁)+指定機関コード(7桁)+連番(2桁)+チェックディジット(1桁)



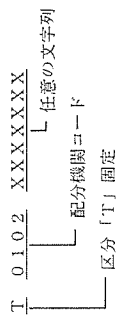
9. 配分機関管理者 ID (12桁)

区分(1桁)+配分機関コード(4桁)+任意の文字列(7桁)



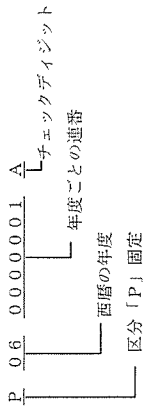
10. 研究開発管理担当者 ID (12桁)

区分(1桁)+配分機関コード(4桁)+任意の文字列(7桁)



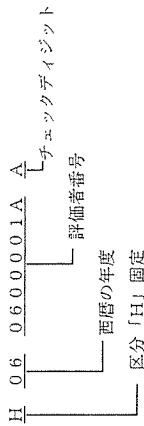
11. PD・POID (11桁)

区分(1桁)+年度(2桁)+連番(7桁)+チェックディジット(1桁)



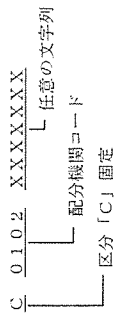
12. 評価者 ID (12桁)

区分(1桁)+年度(2桁)+評価者番号(8桁)+チェックディジット(1桁)



13. CSTP担当者 ID (12桁)

区分(1桁)+配分機関コード(4桁)+任意の文字列(7桁)



(資料 4)
コード仕様(案) 一部抜粋版

1. 指定機関種別マスタ

指定機関種別コード	名称
10	国・特殊法人等
21	国立大学
22	私立大学
23	短期大学
24	大学共同利用機関法人
25	国連の機関
61	地域の多国籍機関
62	国
63	

2. 指定機関マスタ

指定機関コード	名称
2100001	北海道大学
2100002	北海道教育大学
2100003	室蘭工業大学
2100004	小樽商科大学
2100005	帯広畜産大学
2100006	北原工業大学
2200001	札幌医科大学
2200002	釧路公立大学
2200003	公立ほくたいてい赤松大学
2200004	名寄市立大学
2200005	札幌市立大学
2200006	青森公立大学
2300001	旭川大学
2300002	札幌学院大学
2300003	函館大学
2300004	藤女子大学
2300005	北星学園大学
2400001	札幌大学女子短期大学部
2400002	國學院短期大学
2400003	清英明の星短期大学
2400004	清英短期大学
2400005	青森中央短期大学
2400006	東北女子短期大学
2500001	国立歴史民俗博物館
2500002	統計数理研究所
2500003	国文学研究資料館
2500004	国立植物園研究所
2500005	国立情報学研究所
2500006	国立天文台
2600001	小山工業高等専門学校
2600002	群馬工業高等専門学校
2600003	木更津工業高等専門学校
2600004	東京工業高等専門学校
2600005	カレジオ工業高等専門学校
2600006	東京都立産業技術高等専門学校

3. 部局マスタ

部局コード	名称
0001	教養部
0002	教養学部
0003	文理学部
0004	工学学部
0005	システムデザイン学部
0006	芸術文化学部
0007	国立大学法人併設短期大学部

0008	政治経済学術院
0009	法学学術院
0010	文学学術院
0011	人間発達文化学類
0012	行政政策学類
0013	経営経営学類
0014	人文社会学・教育科学系
0015	自然科学系
0016	医歯学系
0017	低過科学研究所
0018	電子科学研究所
0019	遺伝子制御研究所
0020	理工学研究科
0021	自然科学研究科
0022	(連合)理工学研究科(研究院)
0023	学内共同利用施設等
0024	公私立大学の部局等

4. 職種マスタ

職種コード	名称
01	教授
02	助教授
03	講師
04	助手
05	研究員
06	その他
07	名誉教授

5. 学位マスタ

職種コード	名称
01	修士
02	博士
03	その他

6. 府省マスタ

府省コード	名称
01	国会
02	内閣府
03	内閣府本府
04	警察庁
05	防衛省
06	総務省
07	法務省
08	外務省
09	財務省
10	文部科学省
11	厚生労働省
12	農林水産省
13	経済産業省
14	国土交通省
15	環境省

7. 配分機関マスタ

配分機関コード	名称
1001	文科科学省
1002	独立行政法人 日本学術振興会
1003	独立行政法人 科学技術振興機構

8. 研究資金区分マスタ

研究資金区分コード	名称
01	競争的研究資金
02	プロジェクト研究

9. 制度マスタ

制度コード	名称
1002001	科学研究費補助金
1003001	戦略的創造研究推進事業

10. 事業マスタ

事業コード	名称
1002001001	特別推進研究
1002001002	特定領域研究
1002001003	特別研究促進費
1002001004	萌芽研究
1002001005	若手研究(A)
1002001006	若手研究(B)
1003001001	チーム型研究(CREST)直轄型【分割】
1003001002	チーム型研究(CREST)委託型【分割】
1003001003	個人型研究(きかけ)
1003001004	ERATO
1003001005	ICORP

11. 重点研究分野マスタ

重点研究分野コード	分野	内容
0000	基礎研究	
0100	ライフサイエンス	戦略重点科学技術に該当しない施策
0131	ライフサイエンス	生命プログラム再興科学技術
0132	ライフサイエンス	臨床研究・臨床への橋渡し研究
0133	ライフサイエンス	創薬・治療等の革新的がん医療技術

12. 研究分野マスタ

研究分野コード	細目名
00001	情報学基礎
00002	ソフトウェア
00003	計算機システム・ネットワーク
00004	メディア情報学・データベース
00005	知能情報学
00006	知覚情報処理・知能ロボティクス

13. 研究分野キーワードマスタ

細目コード	キーワード
00001A	計算理論
00001B	言語理論
00001C	プログラム理論
00001D	計算機理論
00001E	アルゴリズム理論
00001F	暗号系

14. 国マスタ

国コード	名称
382	日本国
540	ニュージーランド
554	ニュージーランド
524	ネパール王国

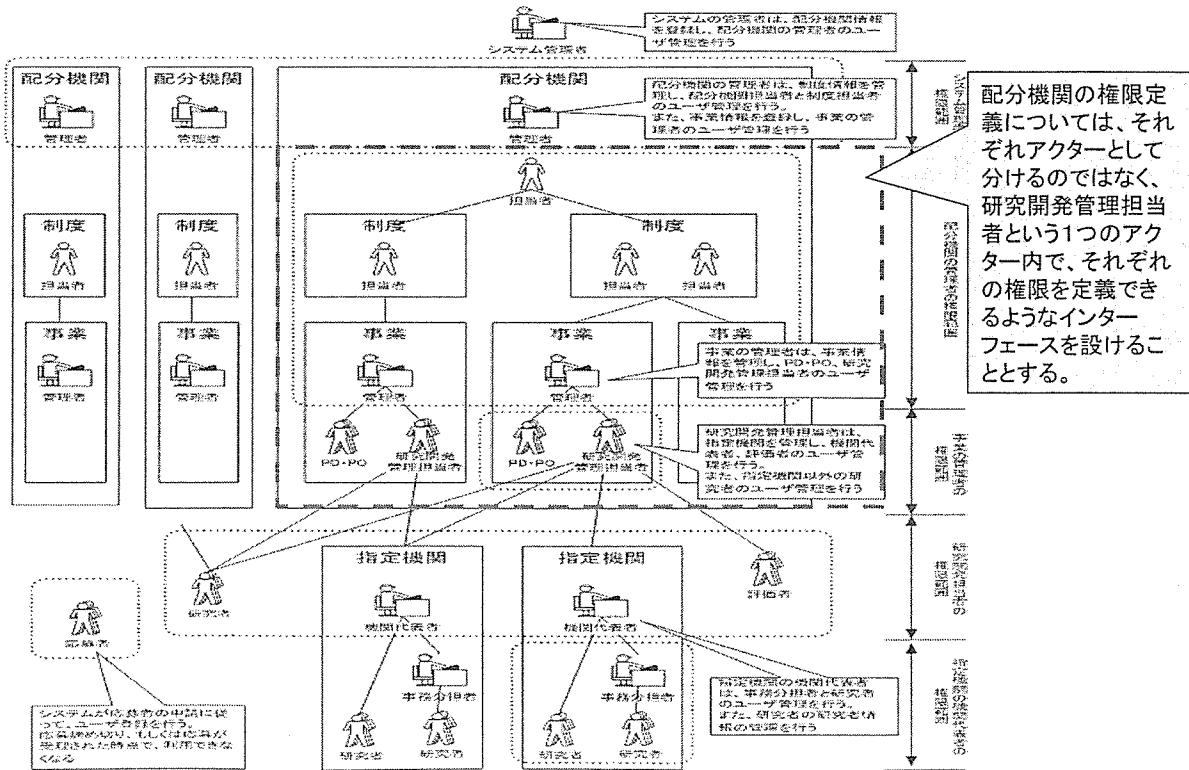
15. 都道府県マスタ

都道府県コード	名称
01	北海道
02	青森県
03	岩手県
04	宮城県
05	秋田県
06	山形県
07	福島県

【資料 5】アクター一覧

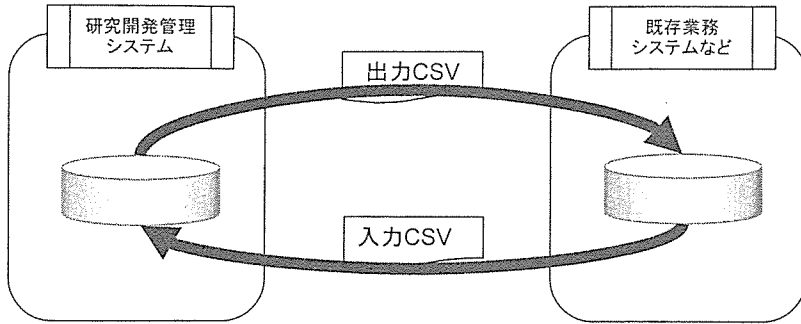
NO	変更後のアクター	アクターの説明
1	システム管理者	本システム全体を管理する管理者
2	配分機関 管理者	各配分機関ごとの本システムの管理者
3	研究開発管理担当者	制度管理、事業管理、課題管理等の業務を行う担当者
4	PD・PO	評価者の管理等を行う
5	指定機関代表者	各研究機関の事務代表者
6	指定機関 事務分担者	各研究機関の事務分担者
7	研究者	研究提案を行う研究者

アクター間のイメージ



資料 6 外部連携ファイル一覧

1. 入力、出力の定義について



2. 既存業務システムとの連携

No.	連携ファイル	説明	連携情報	入力	出力
1	研究者情報ファイル	研究者の研究者情報	<ul style="list-style-type: none"> ・研究者番号 ・研究者ID ・指定機関名 ・所属部局名 ・職 ・学位 ・研究者氏名 ・性別 ・生年月日 ・メールアドレス ・兼任指定機関情報 など 	○	○

1/6

2	評価者候補情報ファイル	評価者選定を行うための評価者の情報	<ul style="list-style-type: none"> ・研究者番号 ・研究者ID ・指定機関名 ・所属部局名 ・職 ・学位 ・研究者氏名 ・性別 ・生年月日 ・メールアドレス ・兼任指定機関情報 など 		○
3	評価者情報ファイル	選定した評価者の情報	<ul style="list-style-type: none"> ・評価者ID ・研究者番号 ・事業名 ・年度 ・評価者グループID ・共通分野コード ・研究キーワード ・指定機関名 ・所属部局名 ・職 ・学位 ・評価者氏名 など 	○	○

2/6

No.	連携ファイル	説明	連携情報例	入力	出力
4	応募基本情報ファイル	応募段階における応募課題の基本情報	<ul style="list-style-type: none"> ・年度 ・配分機関名 ・制度名 ・事業名 ・研究開発課題名 ・分野コード ・研究キーワード ・研究者情報 ・研究経費情報 ・エフオート ・研究分担者情報 ・応募情報ファイル など	○	○
5	評価者仕分け結果ファイル	評価者を仕分けした情報	<ul style="list-style-type: none"> ・評価者ID ・評価者氏名 ・年度 ・事業名 ・評価種別 ・評価方法 ・共通分野コード ・研究キーワード など	○	○
6	評価者割り振り結果ファイル	評価者割り振り結果の情報	<ul style="list-style-type: none"> ・評価者ID ・年度 ・事業名 ・評価種別 ・評価方法 ・課題番号 ・回数 など	○	○
7	書面審査結果ファイル	評価者ごとの応募課題に対する書面審査結果の情報	<ul style="list-style-type: none"> ・評価者ID ・評価者氏名 ・年度 ・事業名 ・評価種別 ・評価方法 ・課題番号 ・課題名 ・研究者氏名 ・回数 ・評価結果 など	○	○

8	評価結果ファイル	応募課題に対する評価結果の情報	<ul style="list-style-type: none"> ・年度 ・事業名 ・課題番号 ・課題名 ・研究者氏名 ・総合評価結果 ・総合評価コメント など	○	○
9	同一研究者課題ファイル	重複チェックを行うための同一研究代表者・分担者の採択課題の情報	<ul style="list-style-type: none"> ・研究者番号 ・研究者氏名 ・研究者性別 ・所属機関名 ・直接経費 ・配分機関名 ・制度名 ・事項名 ・研究開発課題名 ・研究代表者／分担者 ・エフオート など		○

No.	連携ファイル	説明	連携情報例	入力	出力
10	採択課題ファイル	採択した研究課題の情報	<ul style="list-style-type: none"> ・年度 ・配分機関名 ・制度名 ・事業名 ・研究開発課題名 ・分野コード ・研究キーワード ・研究者情報 ・研究経費情報 ・エフォート ・研究分担者情報 など	○	○
11	交付申請情報ファイル	交付申請の情報	<ul style="list-style-type: none"> ・年度 ・配分機関名 ・制度名 ・事業名 ・研究開発課題名 ・研究者情報 ・研究分担者情報 ・予算額情報 など	○	○
12	交付決定情報ファイル	交付決定の情報	<ul style="list-style-type: none"> ・年度 ・配分機関名 ・制度名 ・事業名 ・研究開発課題名 ・研究者情報 ・決定予算額情報 など	○	○
13	実績報告情報ファイル	実績報告の情報	<ul style="list-style-type: none"> ・年度 ・配分機関名 ・制度名 ・事業名 ・研究開発課題名 ・研究者情報 ・実績情報 など		○

5/6

14	成果報告概要情報ファイル	成果報告の概要情報	<ul style="list-style-type: none"> ・年度 ・配分機関名 ・制度名 ・事業名 ・研究開発課題名 ・研究者情報 ・研究目的 ・研究概要 ・研究成果概要 など	○	○
15	成果報告書ファイル	成果報告の情報	<ul style="list-style-type: none"> ・年度 ・配分機関名 ・制度名 ・事業名 ・研究開発課題名 ・研究者情報 ・成果報告書の名称 ・成果報告内容 など		○

6/6

資料 7

「府省共通研究開発管理システム」共通項目について

公募(電子申請)画面の共通項目

No.	画面項目	対応画面	表示項目 入力項目	必須	備考	
1	研究者番号	応募情報登録【研究者代表者情報の確認】	表示		ログイン情報から自動表示	
2	指定機関コード		入力	○	兼任登録されている場合を考慮し、入力項目とする。	
3	指定機関名称		表示			
4	所属部局コード		表示			
5	所属部局名称		表示			
6	職コード		表示			
7	職名		表示			
8	学位		表示			
9	研究代表者 氏名 漢字		表示			
10	研究代表者 氏名 フリガナ		表示			
11	研究代表者 氏名 英字		表示			
12	研究代表者 性別		表示			
13	研究代表者 生年月日		表示			
14	研究代表者 メールアドレス1		表示			
15	研究代表者 メールアドレス2		表示			
16	研究年度	応募情報登録【研究 共通情報の入力】	表示			
17	配分機関名		表示			
18	制度名		表示			
19	事業名		表示			
20	新規・継続区分		入力	○	新規か継続かを選択する	
21	前年度課題番号		入力	○	継続の場合必須	
22	研究開発課題名		入力	○		
23	研究種別		表示		事前に配分機関が事業ごとに設定しておく	
24	研究期間(開始)		入力	○		
25	研究期間(終了予定)		入力	○		
26	府省共通分野コード		入力	○	内閣府が所有している研究分野コード	
27	研究分野(主分野コード)		入力	○		
28	研究分野(副分野コード1)		入力		事業共通で細分化された分野コード	
29	研究分野(副分野コード2)		入力			
30	研究分野(副分野コード3)		入力			
31	研究キーワード1~5(番号)		入力	○		
32	研究キーワード1~5(キーワード)		入力			
33	研究目的		入力	○		
34	研究概要	入力	○			
35	1年目 研究費目1~20	応募情報登録【応募 時予算額の入力】	入力		・研究費目は個別項目設定で項目名、項目数、登録年数を事業ごとに設定可能とする ・登録年数は1年~6年とする ・総計はシステムで自動計算	
36	2年目 研究費目1~20		入力			
37	3年目 研究費目1~20		入力			
38	4年目 研究費目1~20		入力			
39	5年目 研究費目1~20		入力			
40	6年目 研究費目1~20		入力			
41	総計 研究費目1~20		入力			
42	研究代表者番号	応募情報登録【研究者 組織情報の入力】	表示		応募情報登録【研究者代表者情報の確認】で登録した情報を表示	
43	研究代表者 氏名 漢字(姓)		表示			
44	研究代表者 氏名 漢字(名)		表示			
45	研究代表者 氏名 フリガナ(姓)		表示			
46	研究代表者 氏名 フリガナ(名)		表示			
47	研究代表者 所属部局名称		表示			
48	研究代表者 職名		表示			
49	研究代表者 現在の専門		入力			
50	研究代表者 学位		入力			
51	研究代表者 役割分担		入力			
52	研究代表者 直接経費		入力	○		
53	研究代表者 間接経費		入力	○		
54	研究代表者 エフォート		入力	○		
55	研究分担者1~99 研究者番号		入力			研究分担者がいる場合必須
56	研究分担者1~99 研究者氏名 漢字(姓)		入力			
57	研究分担者1~99 研究者氏名 漢字(名)		入力			
58	研究分担者1~99 研究者氏名 フリガナ(姓)		入力			
59	研究分担者1~99 研究者氏名 フリガナ(名)		入力			
60	研究分担者1~99 職コード	入力				
61	研究分担者1~99 職名	入力				
62	研究分担者1~99 指定機関コード	入力				
63	研究分担者1~99 所属部局コード	入力				
64	研究分担者1~99 所属部局名称	入力				
65	研究分担者1~99 現在の専門	入力				
66	研究分担者1~99 学位	入力				

No.	画面項目	対応画面	表示項目 入力項目	必須	備考
67	研究分担者1～99 役割分担		入力		
68	研究分担者1～99 直接経費		入力		
69	研究分担者1～99 間接経費		入力		
70	研究分担者1～99 エフォート		入力		
71	研究代表者の他の応募 助成の有無1～10	応募情報登録【採択 状況の入力】	入力	○	
72	研究代表者の他の応募 配分機関1～10		入力		
73	研究代表者の他の応募 事業1～10		入力		
74	研究代表者の他の応募 課題1～10		入力		
75	研究代表者の他の応募 研究機関(開始)1～10		入力		
76	研究代表者の他の応募 研究機関(終了予定)1～10		入力		
77	研究代表者の他の応募 予算額1～10		入力		
78	研究代表者の他の応募 エフォート1～10		入力		

【備考】

1. 上記項目は研究開発管理システムの「応募基本情報」となる。
2. 上記項目(研究費目は除く)は全府省共通の項目となる。
⇒項目名称、項目属性、最小最大桁数などは事業個別に設定不可
⇒共通項目の追加、または削除は行えない
3. 研究目的、研究概要は最大500文字まで登録が可能とする。
4. 研究費目(研究経費)については、個別設定機能により最大20個まで登録が可能。
5. 上記以外に各事業個別に項目を追加したい場合は、事業登録時に項目個別設定機能で設定可能。
⇒設定した項目は、本システムからCSVファイル形式で出力することが可能となる
6. 研究キーワードは、最大5個まで登録可能
7. 研究分担者は、最大99人まで登録可能
8. 採択状況については、研究者の自己申告で登録していただく
最大10個までの課題について登録可能
9. 公募(電子申請)登録機能では、
「応募基本情報」+「事業個別項目」+「WORD等の添付ファイル」を1つのPDFファイルに結合する。
・応募基本情報 = 上記項目
・事業個別項目 = 各事業でデータとして管理したい項目
・添付ファイル = データとして管理する必要がない項目(実際の研究内容で図や表が含まれる場合など)

No.	画面項目	対応画面	表示項目 入力項目	必須	備考
-----	------	------	--------------	----	----

交付申請画面の共通項目

No.	画面項目	対応画面	表示項目 入力項目	必須	備考
1	研究者番号	応募情報登録【研究 者代表者情報の確認】	表示/修正	○	
2	指定機関コード		表示/修正	○	
3	指定機関名称		表示/修正	○	
4	所属部局コード		表示/修正	○	
5	所属部局名称		表示/修正	○	
6	職コード		表示/修正	○	
7	職名		表示/修正	○	
8	学位		表示/修正	○	
9	研究代表者 氏名 漢字		表示/修正	○	
10	研究代表者 氏名 フリガナ		表示/修正	○	
11	研究代表者 氏名 英字		表示/修正	○	
12	研究代表者 性別		表示/修正	○	
13	研究代表者 生年月日		表示/修正	○	
14	研究代表者 メールアドレス1		表示/修正	○	
15	研究代表者 メールアドレス2		表示/修正	○	
16	研究年度	応募情報登録【研究 共通情報の入力】	表示		修正不可
17	配分機関名		表示		修正不可
18	制度名		表示		修正不可
19	事業名		表示		修正不可
20	新規・継続区分		表示		修正不可
21	前年度課題番号		表示		修正不可
22	研究開発課題名		表示		修正不可
23	研究種別		表示		修正不可
24	研究期間(開始)		表示/修正	○	
25	研究期間(終了予定)		表示/修正	○	
26	府省共通分野コード		表示/修正	○	
27	研究分野(主分野コード)		表示/修正	○	
28	研究分野(副分野コード1)		表示/修正		
29	研究分野(副分野コード2)		表示/修正		
30	研究分野(副分野コード3)		表示/修正		
31	研究キーワード1~5(番号)		入力	○	
32	研究キーワード1~5(キーワード)		入力		
33	研究目的		表示/修正		
34	研究概要		表示/修正		
35	1年目 研究費目1~20	応募情報登録【応募 時予算額の入力】	表示		
36	2年目 研究費目1~20		表示		
37	3年目 研究費目1~20		表示		
38	4年目 研究費目1~20		表示		
39	5年目 研究費目1~20		表示		
40	6年目 研究費目1~20		表示		
41	総計 研究費目1~20		表示		修正不可
42	研究代表者番号	応募情報登録【研究 組織情報の入力】	表示		修正不可
43	研究代表者 氏名 漢字(姓)		表示		修正不可
44	研究代表者 氏名 漢字(名)		表示		修正不可
45	研究代表者 氏名 フリガナ(姓)		表示		修正不可
46	研究代表者 氏名 フリガナ(名)		表示		修正不可
47	研究代表者 所属部局名称		表示		修正不可
48	研究代表者 職名		表示		修正不可
49	研究代表者 現在の専門		表示/修正		
50	研究代表者 学位		表示/修正		
51	研究代表者 役割分担		表示/修正		
52	研究代表者 直接経費		表示/修正	○	
53	研究代表者 間接経費		表示/修正	○	
54	研究代表者 エフォート		表示/修正	○	
55	研究分担者1~99 研究者番号		表示/修正		
56	研究分担者1~99 研究者氏名 漢字(姓)		表示/修正		
57	研究分担者1~99 研究者氏名 漢字(名)		表示/修正		
58	研究分担者1~99 研究者氏名 フリガナ(姓)		表示/修正		
59	研究分担者1~99 研究者氏名 フリガナ(名)		表示/修正		
60	研究分担者1~99 職コード		表示/修正		
61	研究分担者1~99 職名		表示/修正		
62	研究分担者1~99 指定機関コード	表示/修正			
63	研究分担者1~99 所属部局コード	表示/修正			
64	研究分担者1~99 所属部局名称	表示/修正			
65	研究分担者1~99 現在の専門	表示/修正			
66	研究分担者1~99 学位	表示/修正			
67	研究分担者1~99 役割分担	表示/修正			
68	研究分担者1~99 直接経費	表示/修正			
69	研究分担者1~99 間接経費	表示/修正			
70	研究分担者1~99 エフォート	表示/修正			
71	研究代表者の他の応募 助成の有無1~10	表示/修正			
72	研究代表者の他の応募 配分機関1~10	表示/修正			

No.	画面項目	対応画面	表示項目 入力項目	必須	備考
73	研究代表者の他の応募 事業1～10	応募情報登録【採択 状況の入力】	表示/修正		
74	研究代表者の他の応募 課題1～10		表示/修正		
75	研究代表者の他の応募 研究機関(開始)1～10		表示/修正		
76	研究代表者の他の応募 研究機関(終了予定)1～10		表示/修正		
77	研究代表者の他の応募 予算額1～10		表示/修正		
78	研究代表者の他の応募 エフォート		表示/修正		
79	1年目 研究費目1～20	応募基本情報変更・ 交付申請登録【交付 申請時予算額の入 力】	入力	○	研究費目は個別項目設定で自由に設定可能とする
80	2年目 研究費目1～20		入力		
81	3年目 研究費目1～20		入力		
82	4年目 研究費目1～20		入力		
83	5年目 研究費目1～20		入力		
84	6年目 研究費目1～20		入力		
85	総計 研究費目1～20		入力		

【備考】

- 上記項目の項番1～78は「応募基本情報」
- 「応募基本情報」は、交付申請時、研究期間中に一部項目を除き修正が可能。
- 研究費目(研究経費)については、個別設定機能により最大20個まで登録が可能。
- 上記以外に各事業個別に項目を追加したい場合は、事業登録時に項目個別設定機能で設定可能。
- 交付申請登録機能では、
「応募基本情報」+「交付申請情報」+「事業個別項目」+「WORD等の添付ファイル」を1つのPDFファイルに結合する。
 - ・応募基本情報 = 上記項目の項番1～78
 - ・交付申請情報 = 上記項目の項番79～85
 - ・事業個別項目 = 各事業でデータとして管理したい項目
 - ・添付ファイル = データとして管理する必要がない項目

No.	画面項目	対応画面	表示項目 入力項目	必須	備考
-----	------	------	--------------	----	----

成果報告概要

No.	画面項目	対応画面	表示項目 入力項目	必須	備考		
1	研究年度	成果報告概要情報 登録【研究共通情報 の入力】	表示				
2	配分機関名		表示				
3	制度名		表示				
4	事業名		表示				
5	研究開発課題名		表示				
6	成果報告種別		表示		年度、中間、終了		
7	指定機関コード		表示/修正	○			
8	指定機関名称		表示				
9	所属部局コード		表示/修正	○			
10	所属部局名称		表示				
11	職コード		表示/修正	○			
12	職名		表示				
13	研究代表者氏名		表示				
14	研究代表者 氏名 フリガナ		表示				
15	研究目的		表示/修正				
16	研究概要		表示/修正				
17	研究キーワード2(キーワード)		表示/修正				
18	研究キーワード3(番号)		表示/修正				
19	研究キーワード3(キーワード)		表示/修正				
20	研究キーワード4(番号)		表示/修正				
21	研究キーワード4(キーワード)		表示/修正				
22	研究キーワード5(番号)		表示/修正				
23	研究キーワード5(キーワード)		表示/修正				
24	研究キーワード6(番号)		表示/修正				
25	研究キーワード6(キーワード)		表示/修正				
26	研究キーワード7(番号)		表示/修正				
27	研究キーワード7(キーワード)		表示/修正				
28	研究キーワード8(番号)		表示/修正				
29	研究キーワード8(キーワード)		表示/修正				
30	研究キーワード9(番号)		表示/修正				
31	研究キーワード9(キーワード)		表示/修正				
32	研究キーワード10(番号)		表示/修正				
33	研究キーワード10(キーワード)		表示/修正				
34	研究代表者番号	成果報告概要情報 登録【研究組織情報 の入力】	表示		応募情報登録【研究者代表者情報の確認】で登録 した情報を表示		
35	研究代表者 氏名 漢字(姓)		表示				
36	研究代表者 氏名 漢字(名)		表示				
37	研究代表者 氏名 フリガナ(姓)		表示				
38	研究代表者 氏名 フリガナ(名)		表示				
39	研究代表者 所属部局名称		表示				
40	研究代表者 職名		表示				
41	研究代表者 現在の専門		表示/修正				
42	研究代表者 学位		表示/修正				
43	研究代表者 役割分担		表示/修正				
44	研究代表者 直接経費		表示/修正	○			
45	研究代表者 間接経費		表示/修正	○			
46	研究代表者 エフォート		表示/修正	○			
47	研究分担者1~99 研究者番号		表示/修正			研究分担者がいる場合必須	
48	研究分担者1~99 研究者氏名 漢字(姓)		表示/修正				
49	研究分担者1~99 研究者氏名 漢字(名)		表示/修正				
50	研究分担者1~99 研究者氏名 フリガナ(姓)		表示/修正				
51	研究分担者1~99 研究者氏名 フリガナ(名)		表示/修正				
52	研究分担者1~99 職コード		表示/修正				
53	研究分担者1~99 職名		表示/修正				
54	研究分担者1~99 指定機関コード		表示/修正				
55	研究分担者1~99 所属部局コード		表示/修正				
56	研究分担者1~99 所属部局名称		表示/修正				
57	研究分担者1~99 現在の専門		表示/修正				
58	研究分担者1~99 学位		表示/修正				
59	研究分担者1~99 役割分担		表示/修正				
60	研究分担者1~99 研究経費直接経費		表示/修正				
61	研究分担者1~99 研究経費間接経費		表示/修正				
62	研究分担者1~99 エフォート		表示/修正				
63	研究成果の概要		成果報告概要情報 登録【研究成果の入 力】	入力		○	
64	研究方法			入力			
65	結果と考察			入力			
66	結論			入力			
67	研究成果・論文	入力					
68	研究成果・特許	入力					
69	研究成果・著者名	入力					

No.	画面項目	対応画面	表示項目 入力項目	必須	備考
-----	------	------	--------------	----	----

【備考】

1. 上記項目の項番1～62は「応募基本情報」
2. 「応募基本情報」は、成果報告概要情報登録時に一部項目を除き修正が可能。
3. 項番63～69については、各項目1000文字まで入力可能とする
4. 上記以外に各事業個別に項目を追加したい場合は、事業登録時に項目個別設定機能で設定可能。
5. 交付申請登録機能では、
「応募基本情報」+「成果報告概要情報」+「事業個別項目」+「WORD等の添付ファイル」を1つのPDFファイルに結合する。
・応募基本情報 = 上記項目の項番1～62
・成果報告概要情報 = 上記項目の項番63～69

厚生労働科学研究の評価方法に関する研究

分担研究者 伊藤 弘人 国立精神・神経センター精神保健研究所社会精神保健部部長

研究要旨: これからの厚生労働科学研究費のあり方のひとつである評価方法を検討するために、厚生労働科学研究の評価方法に関する調査を実施した。**対象と方法:** 厚生労働科学研究費補助金の研究事業の事前評価委員および中間・事後評価委員（52%が大学に所属）に対して、現在の評価方法に関する調査を行った。評価委員395名のうち168名（回収率42.5%）から協力を得た。**結果:** 評価を行う場合にもっとも念頭においている観点は、専門的・学術的意義（41.1%）、行政的意義（18.5%）、目標の達成度（10.1%）、目的の妥当性（8.9%）の順であった。評価する担当申請書数については、30件以下が理想的であるとする回答者の割合は66.1%であった。評価は書面だけでなく申請者の発表を組み込む必要があると回答した割合は、事前評価で58.1%、中間評価で70.1%、事後評価で67.7%であった。評価を二段階で行う方法については、28.6%が必要である、47.6%が必要性について検討する意義があると回答していた。二段階評価では、二段階目で政策的意義等の大局的な評価に専念できるという質問に65.5%が賛同していた。厚生労働科学研究における指定的研究については、69.0%が必要であると回答していた。**結論:** 本調査の結果は、厚生労働科学研究の評価委員は、専門的・学術的意義とともに、行政的意義についても優先順位の高い評価の観点とし、指定的研究の必要性を認識していることを示唆していた。ただし、担当申請書数を30件程度に抑え、申請者への発表を求める二段階評価の仕組みの導入を検討するなど、改善すべき余地があることを示していた。

A. 研究目的

昭和26年に創設された厚生労働科学研究費補助金制度は、平成7年の科学技術基本法の施行に呼応して、その事業規模を拡大してきた。平成18年度の予算は428億円で、研究課題数も1,375課題にのぼる。これは平成8年と比較して予算は3.4倍に、実施は第数は1.9倍になっていることを意味する。

この研究費補助金への新規の応募申請数は、平成17年度で2,247件で、採択件数は582件（採択率26%）であった（第32回厚生科学審議会科学技

術部会資料から）。厚生労働科学研究は、目的志向型研究

（Mission-Oriented Research）であることから、目的を達成するために最も適切な応募課題が採択できる評価方法であることが求められる。

厚生労働科学研究費の評価は、「大綱的指針」および「課長決定」に基づいて行われている。それぞれの研究事業の領域において、わが国を代表する有識者へ評価委員を委嘱し、申請者から申請された研究課題の事前評価、および研究実施の状況報告の中間・事後評価が行われてきた。

しかしながら、これまで、現在の評価方法の適切性や改善点について調査・分析は、系統的になされたことはない。そこで本研究では、現状の評価項目および研究計画書のフォーマットの見直しに向けた検討に資するために、事前評価委員および中間・事後評価委員に対する調査を実施した。

B. 研究方法

厚生労働科学研究費の各事業における事前評価委員および中間・事後評価委員を対象に、郵送法により実施した。

調査内容は、担当している評価事業に加え、(1) 日頃の評価の観点について、(2) 事前評価用の計画書と評価基準の適切性、(3) 中間・事業評価用の報告書と評価基準の適切性、(4) 試行段階である二段階評価に対する意見、および(5) 指定研究の必要性に関する項目から構成されている。

厚生労働省のホームページから、厚生労働科学研究費の事前評価委員および中間・事後評価委員を抽出したところ、317名の事前評価委員と292名の中間・事後評価委員が委嘱されていた。両委員を兼務している場合があり、実質的には394名が抽出された。所属は、それぞれ研究所が40名(10.2%)、医療機関が87(22.1%)、大学が205名(52.0%)、およびその他が62(15.7%)であった。対象者である394名に平成19年2月に回答の協力を依頼したところ、3月5日現在、168名の委員からの協力が得られた(回収率42.6%)。

回答者の所属の割合は、それぞれ研究所が8.3%、医療機関が23.8%、大学が45.2%、その他が22.0%、および不明が0.7%であった。

C. 研究結果

I. 評価における基本的観点

厚生労働科学研究の研究課題を評価する上で、共通していつも念頭に置いている「基本的」な観点について、必要性、効率性および有効性に分類して質問した。

「必要性」の観点では、「専門的・学術的意義(重要性、発展性等)」が80.4%で最も高く、これに「目的の妥当性」が72.0%、「行政的意義(厚生労働省として実施する意義、緊急性等)」が66.1%で続いていた。「効率性」の観点では、「計画・実施体制の妥当性」が92.9%を占めており、全体の観点の中でも最も高い割合となっていた。「有効性」の観点についてみると、「目標の達成度」が78.0%で最も高く、これに「社会・経済への貢献」が60.7%、「新しい知の創出への貢献」が49.4%で続いていた。念頭においている観点を質問したところ、「専門的・学術的意義(重要性、発展性等)」が41.1%と最も高く、これに「行政的意義」(18.5%)、「目標の達成度」(10.1%)が上位を占めた。

II. 「事前評価」の計画書と評価基準

1. 計画書の記載事項の適切性

事前評価の対象となる研究計画書の「記載事項」について、「申請者及

び経理事務担当者」「申請者がこの研究に関連して現在までに行った研究状況」「申請者の研究歴等」は、いずれも「適切である」と回答した委員の割合が8割を超えていた。

一方、「当該年度の計画経費」「研究組織」「研究の目的、必要性及び期待される成果」「厚生労働科学研究費補助金の各研究推進事業に推薦する予定の研究者」「研究に要する経費」は、いずれも「適切である」と回答する割合は、6割未満であった。

2. 評価基準の適切性

事前評価の対象となる研究計画書の「評価基準」について、「研究の厚生労働科学分野における重要性」は、「適切である」と回答した委員の割合が8割を超えていた。一方、「研究者の資質、施設的能力」は、同割合が唯一7割を下回っていた。

Ⅲ. 「中間・事後評価」の申請書と評価基準

1. 計画書の適切性（中間評価）

中間評価の対象となる研究計画書の「記載事項」の適切性について調査したところ、「適切である」と回答した委員の割合が62.2%を占めていた。

2. 評価基準の適切性（中間評価）

中間評価の対象となる研究計画書の「評価基準」については、「研究計画の達成度」「今後の研究計画の妥当性・効率性」「研究者継続能力」とともに「適切である」と回答した委員の割合が7割前後を占めていた。

3. 報告書の適切性（事後評価）

事後評価の対象となる研究報告書については、「研究目的」「研究方法」は、どちらも「適切である」と回答した委員の割合が7割を超えていた。

一方、「評価：研究成果の行政的意義について」「評価：その他特記すべき事項について」「評価：その他特記すべき事項について」「研究発表：海外」は、いずれも同割合が6割を下回っていた。

4. 評価基準の適切性（事後評価）

事後評価の対象となる研究報告書の「評価基準」について、「研究目的の達成度」「研究成果の学術的・国際的・社会的意義」は、いずれも「適切である」と回答した委員の割合が8割近くを占めていた。一方、「研究内容の効率性」は、同割合が6割を下回っていた。

Ⅳ. 評価の仕組みについて

1. 評価の方法について

1) 担当申請書数の適切性

1回の評価において担当する平均的な申請書数は、20件以下の回答者が32.8%、21～30件では13.1%、31～40件では10.1%、それ以上が16.0%、無回答が28.0%であった。

理想的と考える1回あたりの申請書数は、20件以下の回答者が28.0%、21～30件では26.2%、31～40件では11.9%、それ以上が6.6%、無回答が27.3%であった。

2) 事前評価

事前評価を担当している117名の委員は、事前評価の評価方法が「書面審

査のみ」の割合は48.7%で、「申請者が発表することがある」は47.0%であった。

また、全委員に対して事前評価における申請者の発表を組み込んだ評価については、「必要である」と回答した委員の割合は45.2%で、「不要である」の割合は12.5%であった。

3) 中間評価

中間評価を担当している127名の委員のうち、中間評価の評価方法が「申請者が発表することがある」の割合は59.1%で、「書面審査のみ」の割合は23.6%であった。

また、全委員に対して中間評価における申請者の発表を組み込んだ評価の必要性を問うたところ、「必要である」と回答した委員の割合は54.8%で、「不要である」の割合は5.4%であった。

4) 事後評価

事後評価を担当している127名の委員では、事後評価の評価方法で「申請者が発表することがある」の割合は56.7%で、「書面審査のみ」の割合は25.2%であった。

また、全委員に対して事後評価における申請者の発表を組み込んだ評価の必要性を質問したところ、「必要である」と回答した委員の割合は53.0%で、「不要である」の割合は6.0%であった。

2. 2段階による評価について

1) 2段階による評価の必要性

評価にあたり、一部の研究事業では2段階での評価を行っている。第1段

階で若手研究者が評価し、第2段階で大局的な見地から評価するという方法であるが、この2段階による評価の必要性については、「必要性について検討する意義がある」と回答した委員の割合が47.6%で、「必要である」の割合が28.6%で、「必要ではない」の割合は17.9%であった。

2) 2段階評価によって可能となる各種メリットに対する賛同の可否

2段階評価による各種メリットに対する賛否を問うたところ、「第2段階で政策的意義等、大局的な評価に専念できる」について回答者の65.5%が賛同していた。続いて、賛同する割合の高い順に、「第1段階で公募課題に沿った研究であるかどうか評価できる」には57.1%が、「第1段階で若手が評価に参画できる可能性がある」には56.5%が、「第1段階で実行性・実現可能性・費用などの評価ができる」には55.4%が、「第2段階で革新性の評価に専念できる」には48.8%が、「評価担当数が減るために楽になる」には41.1%が賛同できるとしていた。

3. 指定的な研究の必要性

厚生労働科学研究は、目的志向型研究(Mission-Oriented Research)であることから、指定的な研究が必要であるという考え方がある。そこで、指定的な研究の必要性に対する考えについて質問したところ、「必要である」と回答した委員の割合は69.0%で、「どちらともいえない」が22.0%、「不要である」が7.1%であった。

D. 考察

本調査は、厚生労働科学研究費補助金のすべての研究事業の事前評価委員および中間・事後評価委員への評価方法に関する初めての調査である。ただし、調査期間が短かったこともあり、回収率は、42%と高くはなかった。回答者の所属の分布は、全評価者全体の所属の分布と類似しているため所属による偏りは少ないと考えられるものの、解釈には限界があることを認識する必要がある。

本調査では、評価方法についての現実的な改善の方向性についての参考になる結果が示されていた。第1に1回の評価において担当する申請書数は概ね30件程度にすることを、回答者の3分の2が理想的であるとしていた。評価者に過重の負担とならないためにも、評価者1回あたりの申請書数の上限を設けるなどの対応が必要と考えられる。

第2に、評価は書面だけでなく申請者の発表を組み込む必要があると回答した割合が半数以上を占めていた。事前評価より、中間・事後評価の方が必要とする割合が高い傾向があり、進捗や成果を評価したいという希望があるとも考えられる。ただし、「事後評価は、次の事前評価に直結させなければ意味がない」「事前評価と事後評価は同一委員がすべき」という自由記載が示す通り、研究計画を採択するかどうか判断する事前評価に連動させるために、申請者の発表を組み込む

などの工夫が必要であると考えられる。

第3に、評価を二段階で行う方法については、回答者の4分の3以上が検討する意義があると回答しており、導入を積極的に検討する必要がある。二段階評価により、第1段階で若手も参画して、公募課題に沿った研究であるかどうかや実行性・実現可能性・費用などの評価を行い、第2段階で政策的意義等の大局的な評価に専念できる可能性がある。なお、研究事業によっては、英語での要約を求めて海外の有識者に評価を依頼したり、患者代表者に参画いただくという方法などもその可能性を検討する必要がある。

第4に、回答者が評価を行う場合にもっとも念頭においている観点に、専門的・学術的意義の次に行政的意義を挙げていたことは興味深い。厚生労働科学研究における指定的研究について約7割が必要であると回答していることもあわせると、回答者には、厚生労働科学研究費補助金が、目的志向型研究 (Mission-oriented research) であることが理解されていることを示しているのかもしれない。

E. 結論

本調査の結果は、厚生労働科学研究の評価委員は、専門的・学術的意義とともに、行政的意義についても優先順位の高い評価の観点とし、指定的研究の必要性を認識していることを示唆していた。ただし、担当申請書数を30

件程度に抑え、申請者への発表を求め
る二段階評価の仕組みの導入を検討
するなど、改善すべき余地があること
を示していた。

F. 健康危険情報

G. 研究発表

1. 論文発表：準備中

2. 学会発表：準備中

H. 知的財産権の出願・登録状況（予
定も含む） なし